

山武市污水適正処理構想

令和 4 年度



目 次

1. 山武市污水適正処理構想策定の趣旨	1
2. 主な污水处理施設の種類	2
3. 山武市污水適正処理構想の策定手順	3
4. 基本事項の設定	4
5. 整備済み区域等の確認	5
6. 未整備区域の整備手法・整備計画の検討	6
7. 山武市污水適正処理構想	7

1. 山武市污水適正処理構想策定の趣旨

【污水適正処理構想とは】

污水適正処理構想とは、市全域を対象として、一般家庭、事業場等からの排水（污水）を処理してきれいな水にする施設である農業集落排水施設、合併処理浄化槽等の整備予定区域及び整備計画を定めるものです。

また、本構想は、千葉県を示す方針に基づき県内の市町村が一斉に策定し、千葉県が策定する「全県域污水適正処理構想」に反映されるものです。

【構想策定の基本方針】

山武市污水適正処理構想は、国（国土交通省、農林水産省、環境省）が示す「持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル 平成 26 年 1 月」及び、これを受けて千葉県が作成した「全県域污水適正処理構想見直し市町村作業マニュアル 令和 4 年 3 月」に基づき策定しています。

【構想策定の主なポイント】

今後の人口減少や高齢化の進行、整備済み污水处理施設の老朽化対策等を踏まえ、污水处理施設未整備区域の早期解消を目指す整備手法を選定します。

污水处理施設未整備区域の早期解消（早期概成）のためには、各種污水处理施設の長期的な視点からの建設費・維持管理費の経済比較の結果とともに、時間軸の観点を盛り込み、早期整備完了を目指したより弾力的な整備手法を採用する必要があります。

なお、国及び千葉県では、短期目標（令和 6 年度）での早期概成とともに、中期目標（令和 16 年度）及び長期目標（令和 31 年度）での広域化・共同化等を踏まえた効率的な污水处理システムの構築を目指していくとしています。

2. 主な污水处理施設の種類

【主な污水处理施設の種類】

一般家庭、事業場等からの排水（污水）を処理してきれいな水にする污水处理施設には、山武市内で整備している「農業集落排水施設」、「合併処理浄化槽」の他に、「公共下水道」等があります。これらの施設の概要は、次のとおりです。

◆農業集落排水施設

農村地域の家屋からのし尿、生活雑排水を下水管で集めて処理する施設で、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を主な目的としています。

◆公共下水道

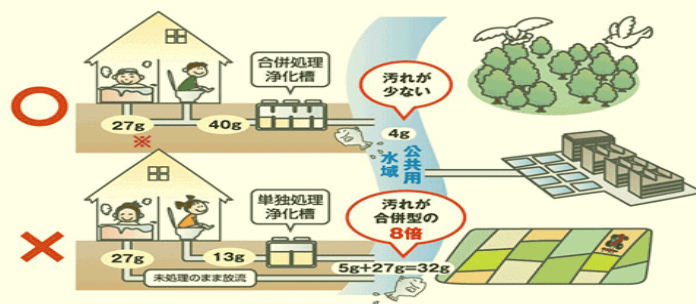
主として市街地におけるし尿、生活雑排水、事業場排水等を下水管で集めて処理するための施設で、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を主な目的としています。

◆合併処理浄化槽

し尿と、台所・風呂・洗濯・洗面所などの生活雑排水を併せた生活排水を処理する施設で、単独処理浄化槽と比べて処理能力が高く、適切な維持管理を行えば集落排水や下水道と同等の処理ができます。

※単独処理浄化槽は、污水处理施設として認められていません。

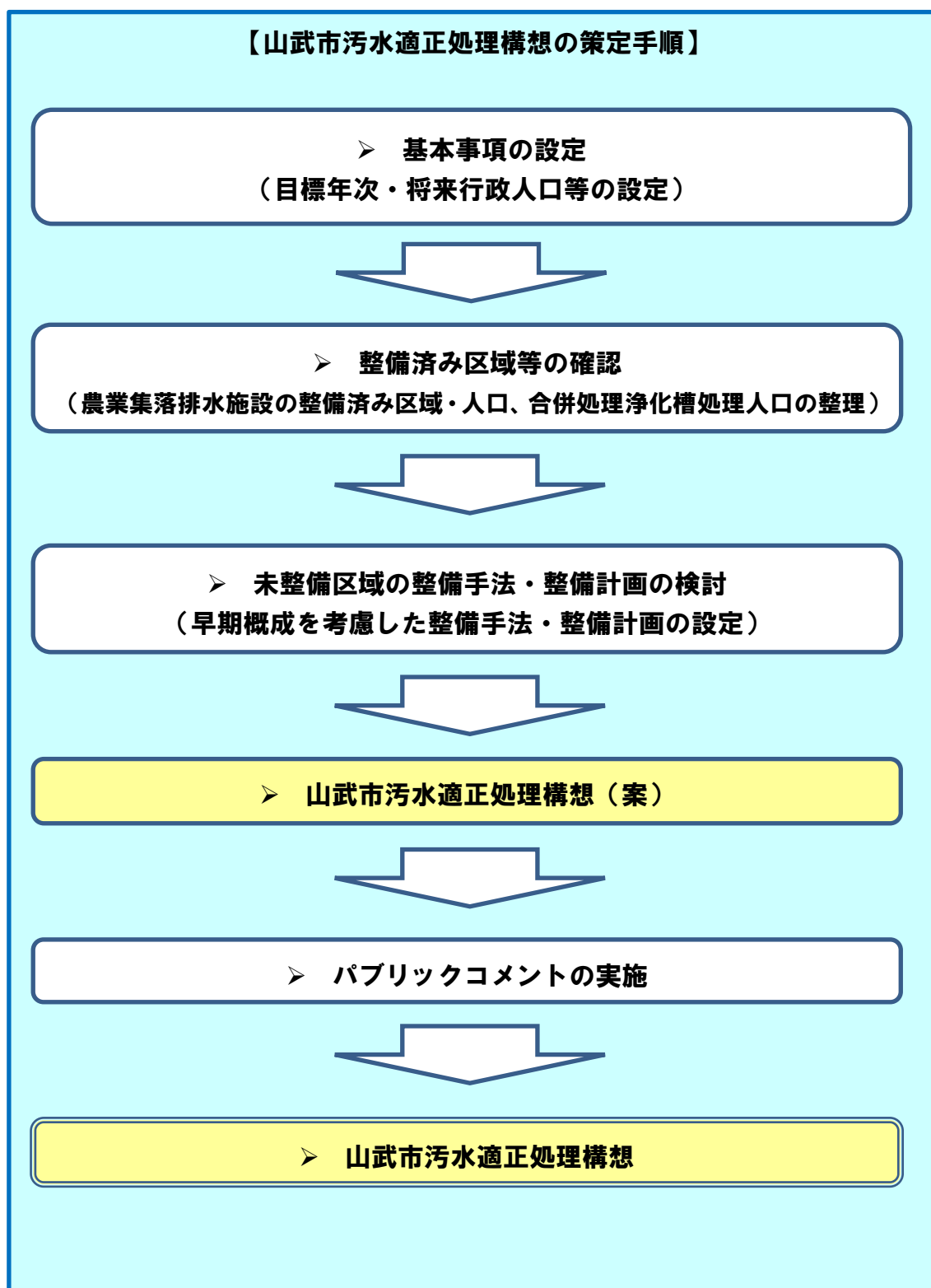
単独処理浄化槽は、し尿だけを処理する施設で、処理効果が低い上、生活雑排水を処理できないため、生活環境保全の意識の高まりとともに、平成13年（2001年）4月1日以降の新設が禁止されています。なお、既設の単独処理浄化槽については、下水道等の計画がない地区に設置されているものについては、合併処理浄化槽への転換を図ることを努力することが求められています（浄化槽法附則）。



出典：環境省 HP

合併処理浄化槽と単独処理浄化槽の概念図

3. 山武市污水適正処理構想の策定手順



4. 基本事項の設定

(1) 目標年次

本構想の目標年次は、千葉県が示す基本方針に基づき、短期：令和 6 年度、中期：令和 16 年度、長期：令和 31 年度としています。

(2) 将来行政人口

本構想の目標年次の行政人口は、「第 2 期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略—人口ビジョン—」※の予測値を基に設定しています。

※令和 2 年 3 月策定

表 4-1 本構想の将来行政人口（参考）

年 次	山武市の行政人口
令和 2 年度（実 績※）	50,052 人
令和 6 年度（予測値）	45,288 人
令和 16 年度（予測値）	38,831 人
令和 31 年度（予測値）	29,665 人

※住民基本台帳人口（令和 3 年 3 月 31 日現在）より

5. 整備済み区域等の確認

山武市の汚水処理は、農業集落排水施設と合併処理浄化槽により行われており、令和2年度末の整備状況が表5-1及び図5-1に示すとおりとなっています。

農業集落排水施設は、旧松尾町の武野里地区、借毛本郷地区、大平地区及び旧成東町の大富地区の計4地区の整備に着手し、全て整備が完了しており、整備区域内人口が令和2年度末で5,040人となっています。

合併処理浄化槽は、令和2年度末現在で処理人口が27,893人となっています。(集中浄化槽による処理人口も含みます。)

農業集落排水施設と合併処理浄化槽による処理人口の合計が、令和2年度末現在で32,933人となり、行政人口に占める割合(汚水処理人口普及率)が約65.8%となっています。

表5-1 集合処理区域の整備状況

事業種別	地区名	R2年度末 整備済面積 (ha)	R2年度末 整備区域内 人口(人)	備考
農業集落排水施設	借毛本郷、大平、 大富、武野里	257	5,040	整備完了
合併処理浄化槽	上記以外の地区		27,893	集中浄化槽処理人口含む
合計			32,933	行政人口50,052人(R2 年度末)の約65.8%

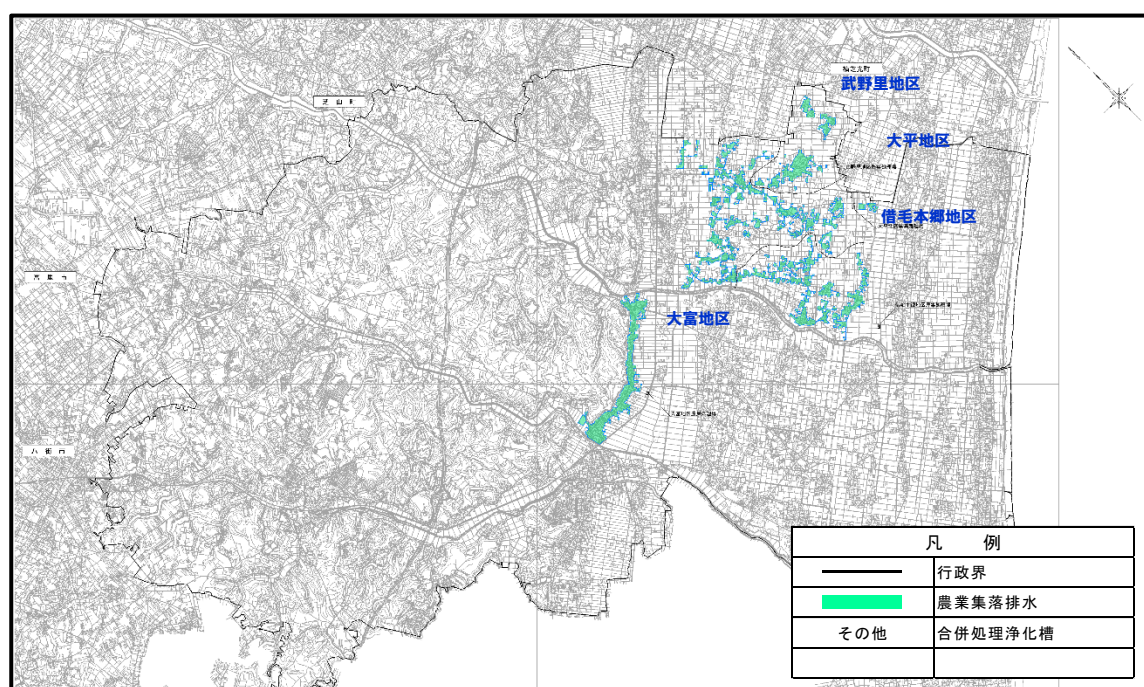


図5-1 山武市の汚水処理施設の整備状況

6. 未整備区域の整備手法・整備計画の検討

【未整備区域の整備方針】

山武市污水適正処理構想では、污水处理施設の早期概成及び今後増加する整備済み施設の老朽化対策を踏まえ、污水处理施設未整備区域について、次のとおり整備方針を設定しています。

- 山武市の現在の財政状況及び今後の財政的負担等を考慮し、公共下水道等の新規事業への着手や農業集落排水施設の新たな地区への整備は実施しない方針とします。
- これにより、既存の農業集落排水区域以外は、合併処理浄化槽による整備を推進する方針とします。
- 単独処理浄化槽及びくみ取り槽から合併処理浄化槽に転換する場合には、山武市からの補助金を交付しており、今後も継続します。

山武市の合併処理浄化槽の設置に関する補助金（上限額）

補助対象経費区分		単独処理浄化槽からの転換	くみ取り槽からの転換
設置費	5人槽	332,000円	
	7人槽	414,000円	
	10人槽	548,000円	
撤去費		180,000円	100,000円
宅内配管工事費		300,000円	
放流先のない場合の処理装置 (合併処理浄化槽と併せて設置する場合)		200,000円	

※令和4年4月1日現在

【整備計画の考え方】

污水处理施設未整備区域の整備計画は、次の考え方で作成しています。

- 農業集落排水処理施設は整備完了。現有施設の維持管理を行います。
- 単独処理浄化槽及びくみ取り槽については、引き続き補助金を確保し、合併処理浄化槽への転換を推進します。

7. 山武市污水適正処理構想

以上の考え方で作成した「山武市污水適正処理構想」は、次の表及び図に示すとおりとなっています。本構想の主な事項は、次のとおりです。

- 污水处理施設未整備区域を合併処理浄化槽により整備する方針です。
- 污水处理人口普及率は、現況（R2年度末）の約 65.8%から短期目標（R6年度）に約 70.7%、長期目標（R31年度）に 100%まで上昇させる目標としています。

表 7-1 整備手法別計画人口

項目		地区名	単位	短期目標 (R6年度)	中間目標 (R16年度)	長期目標 (R31年度)	備考
計 画 人 口	農業集落排水施設	借毛本郷、大平、大富、武野里	人	4,560	3,910	2,987	整備完了
	合併処理浄化槽	上記以外の地区	人	40,728	34,921	26,678	集中浄化槽を含む
	計（行政人口）		人	45,288	38,831	29,665	

表 7-2 整備計画（目標年次 R6、R16、R31）

項目		単位	現況 (R2年度)	短期目標 (R6年度)	中間目標 (R16年度)	長期目標 (R31年度)	備考
計 画 人 口	農業集落排水施設	人	5,040	4,560	3,910	2,987	整備完了
	合併処理浄化槽	人	27,893	27,438	28,241	26,678	集中浄化槽を含む
	未処理	人	17,119	13,290	6,680	0	
	計（行政人口）	人	50,052	45,288	38,831	29,665	
普 及 率	農業集落排水施設	%	10.1	10.1	10.1	10.1	整備完了
	合併処理浄化槽	%	55.7	60.6	72.7	89.9	集中浄化槽を含む
	計	%	65.8	70.7	82.8	100.0	

その他のベンチマーク（指標）に関する現況値と将来目標値は次のとおりです。

➤ 指標１：汚水処理人口普及率

下水道、農業集落排水施設、コミュニティプラント、合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値を、総人口で除して算定した、汚水処理施設の普及状況を示す指標です。

現況（R2）	短期目標（R6）	中期目標（R16）	長期目標（R31）
65.8%	70.7%	82.8%	100.0%

➤ 指標２：汚泥有効利用率

農業集落排水の汚泥の有効利用率を示す指標です。本市の汚泥は全て堆肥化を実施しています。

現況（R2）	短期目標（R6）	中期目標（R16）	長期目標（R31）
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

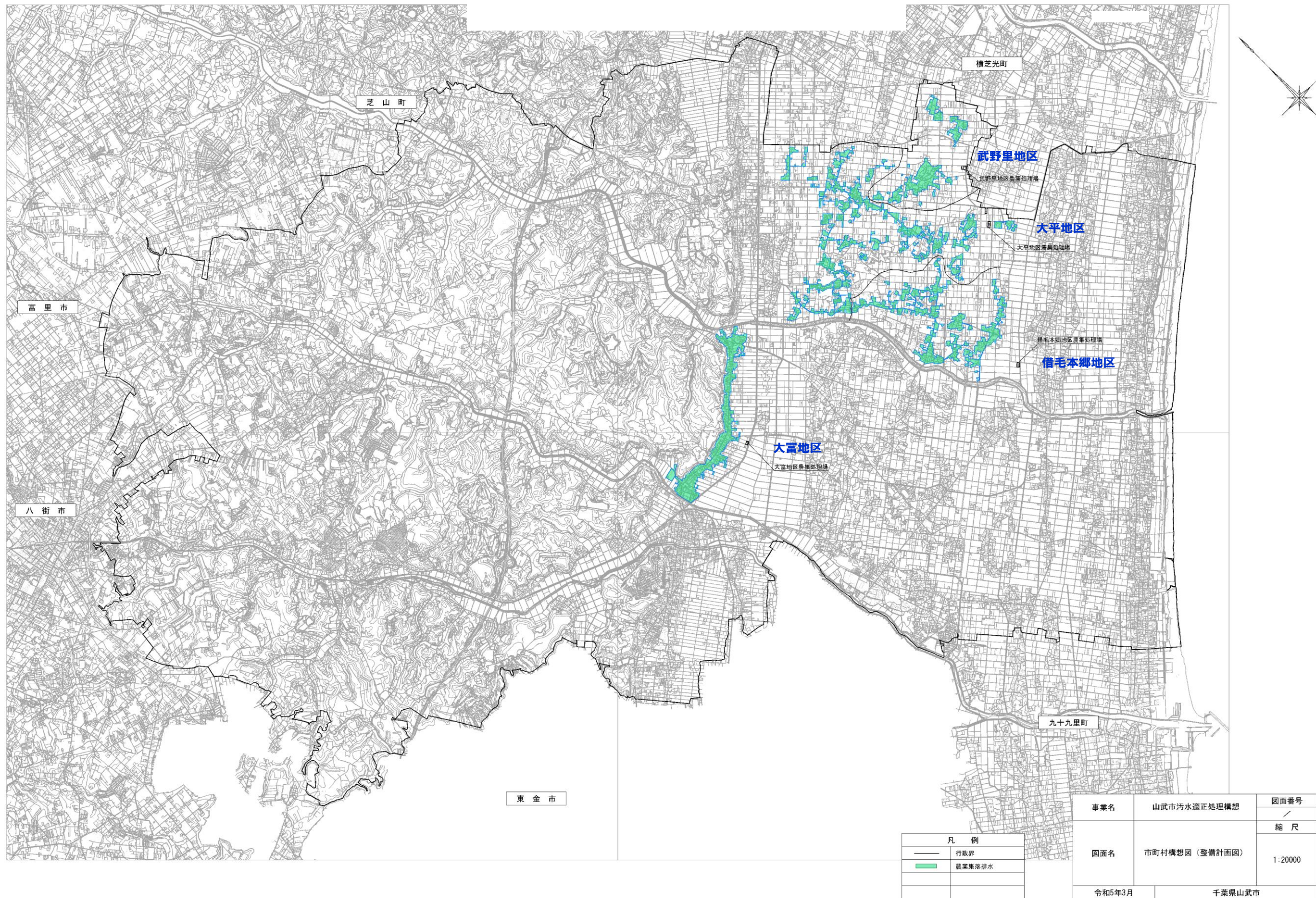


図 7-1 山口市污水適正処理構想